



## つなぐちゃんベクトル

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会社内誌 臨時増刊 181号 2010.10.23 発行 社会政策研究所

---

### 共通番号、連合など3団体「早期導入を」、日弁連「慎重に」—民主PT

キャリアブレイン 2010年10月22日

民主党の税制改正プロジェクトチーム(座長=中野寛成・元衆院副議長)は10月22日、社会保障と税の共通番号制度について連合、日本経団連、日本商工会議所、日本弁護士連合会の4団体からヒアリングを行った。連合、経団連、商工会議所の3団体が早期導入を訴える一方、日弁連は導入に慎重な姿勢を示した。

ヒアリングではまず、連合の逢見直人副事務局長が、安心・信頼の社会保障を実現する視点から、番号制度を早期導入するよう要望。その上で、利用範囲は税務分野と年金分野からスタートする住民票コードと対応する新たな番号を付けるプライバシー保護のため、不正行為に罰則を設けるなど法制上の措置を講じる—などを提案した。

経団連の遠藤紘一電子行政推進委員会電子行政推進部会長は、番号制度で医療データを蓄積して健康増進や医療のイノベーションを図ったり、官民が情報共有したりすることで、利便性の高いサービスの提供や新たな産業の創出が可能だと主張。「この機を逃せば、ただでさえ遅れているICT(情報通信技術)の利活用がさらに遅れて致命的な状況になりかねない」と早期導入を求めた。

商工会議所の渡邊順彦社会保障専門委員長は、「社会保険料と税の公正・簡素な納付・納税体制を構築するためにも、何としても早期に実現すべき」などと強調した。

一方、日弁連の志水勉情報問題対策委員長は、プライバシー保護の難しさなどを指摘したほか、住民基本台帳ネットワークシステムの導入によるメリットや問題点などの検証も求めた。その上で、番号制度導入を議論するため、地方自治体や医療機関の関係者、介護事業者らからヒアリングすべきだとの考えを示した。

出席した議員からは、「プライバシーや個人情報の保護に十分配慮しながらも、最終的には民間の利用が可能になる形で強力で推進していくべきだと思う」「全国レベルで付番することのメリットは極めて高い」など導入に前向きな意見が上がった。

### 府：障害者への差別禁止 社会参加促進、条例制定を検討 / 京都

毎日新聞 2010年10月22日

府は、障害者が健常者と同じように住みやすい社会づくりを目指す「ノーマライゼーション条例」(仮称)の制定に向けた検討を始めた。理解不足からくる差別や虐待を禁止し、社会から隔離されがちな障害者の社会参加を促すのが狙い。

障害者が施設や家庭で虐待される事例が近年、問題化していることや就労機会などで健常者との差別がなくなれないといった問題の解消を図る。同様の条例は千葉県と北海道が制定済み。さいたま市などが検討中。

府障害者支援課によると、障害者の権利擁護を定めた理念的な条例にするか、差別や虐待があった場合の支援、対策を明文化する内容にするかを検討する。関係機関や団体を入

れた検討委を年度内に設立し、早ければ11年度制定を目指す。

現行では、知事認可が必要な障害者施設で虐待などの疑いがあった場合は立ち入り調査の権限は府にあるが、家庭などであった場合の調査は難しい。これらの法的な整備に関する意見も課内から出ているという。

千葉県は07年、全国に先駆けて施行。具体的な差別行為を規定し、認定されれば知事が勧告できることを明文化した。今年4月に施行された北海道の条例は就労や地域生活での支援に関する施策を盛り込んだ。

国も現在、基本方針を定めた障害者基本法の抜本的な改正を検討中。また、障害者自立支援法に代わり、発達障害や高次脳機能障害など多様化した障害に対応する支援を盛り込んだ障害者総合福祉法（仮称）の制定を目指している。【入江直樹】

## 金メダルへ465人挑む 全国障害者スポーツ大会あす開幕

東京新聞 2010年10月22日

二十三～二十五日に県内で初めて開かれる第十回全国障害者スポーツ大会は、四十七都道府県と十九政令指定都市の各選手団計約五千三百人が参加し、熱戦を繰り広げる。県勢は三百十二人の県代表選手と、百五十三人の千葉市代表選手が金メダルに挑む。伴走者や介助者が選手をサポートする競技もあり、両者のあうんの呼吸も見どころだ。県勢の有望選手を紹介する（敬称略）。（宇田薫）

### 陸上

競走、跳躍、投てきのほか、車いすで障害物をよけながらタイムを競うスラロームや、ハンドマイクの音を頼りに走る視覚障害者の50メートルがある。800メートル、1500メートルの土岐章子（40）＝富里福葉苑＝は第一回大会から通算十三個の金メダルを獲得。100メートル、走り高跳び、400メートルリレーの松田直樹（17）＝千葉市＝も昨年、東京都で開かれた障害者スポーツの国際大会「アジアユースパラゲームズ」に出場しており、層は厚い。

### 水泳

50メートル自由形、50メートル背泳ぎの秦由加子（29）＝千葉ミラクルズ＝は二〇〇八年大分大会、〇九年新潟大会の25メートル、50メートル自由形で大会新記録を出した実力派。三種目で大会記録を持つ沢和信二（48）＝市原市＝は25メートルバタフライ、50メートル自由形に出場する。

### 車いすバスケット

〇八年の北京パラリンピックで選手団の主将を務めた京谷和幸（39）＝浦安市＝を擁する県代表は優勝候補。千葉市代表も出場し、いずれも同市の強豪チーム「千葉ホークス」のメンバーが中心。決勝で県勢対決の可能性もありそうだ。

### 卓球・サウンドテーブルテニス

卓球は新潟大会金メダルの渡辺惇志（23）＝千葉市＝が連覇を狙う。

サウンドは視覚障害者の競技で、選手がアイマスクをし、金属球入りボールの音を頼りに打ち合う。〇五年岡山大会、〇七年秋田大会準優勝の西沢かづ子（57）＝同＝が金メダルに挑む。

### ボウリング

男女別に少年、青年、壮年の部があり、四ゲームのトータルスコアを競う。少年男子の部で大分大会、新潟大会を制した服部一成（17）＝千葉市＝が三連覇を狙う。

### アーチェリー

弓の種類によってリカーブとコンパウンドの二部門がある。リカーブに出場する北京パラリンピックの日本代表小西貴美子（37）＝千葉市＝が有力。

### フライングディスク

高さ六十一センチの位置にある円形ゴール（直径九一・五センチ）を狙ってプラスチック

ク製の円盤を投げ、正確さを競う「アキュラシー」と、飛距離を競う「ディスタンス」がある。新潟大会アキュラシー7メートルで金メダルの田口圭一(50) = 千葉市 = が同種目とディスタンス立位に挑む。

【競技日程と開催市町】

正式競技

競技名	開催日	会場
陸上	23～25日	千葉市
水泳	"	習志野市
アーチェリー	24日	船橋市
卓球・サウンドテーブルテニス	23、24日	千葉市
フライングディスク	"	"
ボウリング	24日	"
バスケットボール	23、24日	船橋市
車いすバスケットボール	"	"
ソフトボール	24、25日	成田市
グランドソフトボール	"	"
フットベースボール	"	"
バレーボール	23～25日	大網白里町など
サッカー	23～25日	市原市

オープン競技

ライフル射撃	23、24日	千葉市
ポッチャ	"	"
車いすツインバスケットボール	"	"
車いすレクダンス	24、25日	"

会場などの問い合わせは大会ホームページか大会事務局 = 電 043 ( 223 ) 3095 = へ。

山口国体に向け 食中毒防止など取り組み強化へ

山口新聞 2010年10月22日

山口県が食の安心・安全推進条例に基づき設置した「食の安心・安全審議会」(会長・米谷雅之広島経済大教授、委員13人)の本年度初会合が21日、県庁であった。県は来年10月の山口国体と全国障害者スポーツ大会へ向けた食中毒の未然防止など、取り組みの強化を必要とする項目について対応案を示した。

県生活衛生課によると、県内で今年発生した食中毒は9月末現在15件で前年同期と比べ3件増加。千葉県で今月開かれた千葉国体では、大会運営従事者に出された弁当が原因の食中毒が発生し、39人が症状を訴えうち3人が入院した。このため、県は山口国体に向け食品関係施設に対する衛生管理のさらなる徹底が必要としている。

対応として、国体・障害者スポーツ大会局と連携して食品衛生の手引を作成したほか、各保健所が国体関係施設を重点的に監視・指導したり講習会を開いたり、発生原因に応じた事業者や消費者向けの啓発強化に取り組む。

会合には学識者、食品や流通、消費に関係する委員11人が出席し、意見を述べた。

県環境生活部の吉崎英喜部長は「国体で全国から大勢の人が来るので、食の安心・安全はこれまで以上に取り組みを強化する必要がある」と協力を呼び掛けた。

たまには太陽の子・手をつなぐ、たまにはつなぐちゃんベクトル、たまにブログたまにはチェック



大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行